

2015年2月20日

国連防災世界会議に向けたイベント

「国際地域女性アカデミー in Tohoku」

2015年3月10日、12日南三陸町にて開催

国際地域女性アカデミー in Tohoku 国内実行委員会（実行委員長：石本めぐみ）は、3月に宮城県仙台市で第3回国連防災世界会議が開催されるにあたり、国際ネットワーク組織 Huairou Commission\*（「ホワイロウ・コミッション」、所在地：NY、代表：Janice Peterson）と共催で、イベント「国際地域女性アカデミー」（International Grassroots Women's Academy）を南三陸町にて2日間開催します。

\* Huairou Commission: NYが本部の米国非営利組織。コミュニティ開発のために地域活動に従事する女性団体のサポートを世界規模で行っている。2013年予算規模約2億円。国連や世界銀行が主催する国際会議にあわせて「グラスルーツ・アカデミー」を開催。

■国際地域女性アカデミーとは

災害に強いしなやかな地域社会づくりのため、各地から復興や防災の活動に携わる女性たちが集い、体験や知恵を共有し、ポスト兵庫行動枠組に即した市民社会側からの行動を提案します。

次世代を担う女性が主な対象者で、参加者はホワイロウ・コミッションが支援をしているアジア、アフリカ、南米など世界から集まる約30名と、東日本大震災の被災3県の様々な分野から約40名の予定です。

海外からのコミュニティリーダーには、被災沿岸地域訪問と被災地からの学びの機会を、被災地の女性リーダーには、グローバルな視点と今後の地域復興におけるリーダーシップを獲得する機会を提供します。

■報告イベントとしてオープンフォーラムの併催

2日目の最後には広く一般の方を対象としたオープンフォーラムを開催します。オープンフォーラムでは、本アカデミーの成果を報告し、登壇者と会場に集まった全員が「わたしコミット（災害時にわたし、家族、地域を守るために、今わたしがやるべきこと、できること）」を宣言します。その一人ひとりの宣言を本会議に届けたいと考えています。

■南三陸町での開催の目的

被災現場で開催するアカデミーとオープンフォーラムを通し、東日本大震災の教訓をダイレクトに感じた世界からのコミュニティリーダーとの交流によって、一人でも多くの女性リーダーが東北沿岸の本格的な復興のエンジンとなることを目指します。

■概要

国際地域女性アカデミー： 2015年3月10日（火）9:00-17:30、12日（木）9:00-15:30

オープンフォーラム： 2015年3月12日（木）16:00-18:00

会場：アカデミー（南三陸プラザ）、オープンフォーラム（南三陸町ベイサイドアリーナ・文化交流ホール）

主催：Huairou Commission（ホワイロウ・コミッション）

国際地域女性アカデミー in Tohoku 国内実行委員会（事務局：特定非営利活動法人ウィメンズアイ）

後援：南三陸町、南三陸町教育委員会、南三陸町観光協会、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）、特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター、特定非営利活動法人いわて連携復興センター、2015 防災世界会議日本 CSO ネットワーク（JCC2015）、復興庁宮城復興局、国連ウィメン日本協会、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、宮城県、Japanese Women's Leadership Initiative (JWLI)

助成：フィッシュ・ファミリー財団（米国ボストン）

協賛：株式会社ウジェススーパーグループ、株式会社カミツレ研究所

協力：株式会社博報堂、DAHA Planning Work

問い合わせ先：国際地域女性アカデミー in Tohoku 国内実行委員会

広報担当：川廷昌弘（かわてい）080-1319-1559 広報アシスタント：池水美都（いけみず）070-2663-4092

HP: <http://watohoku.com> E-mail: [womensacademyintohoku@gmail.com](mailto:womensacademyintohoku@gmail.com)

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田 100-62 あさひ幼稚園内